

岐阜県福祉サービス第三者評価事業

評 価 書

(社会福祉法人和光会 沖ノ橋保育園)

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②事業者情報

名 称：社会福祉法人和光会 沖ノ橋保育園	種別：保育所
代表者氏名：片岡 光	定員（利用人数）： 110 名
所在地：岐阜市沖ノ橋町2丁目15	Tel 058-251-1856

③総 評

◇特に評価の高い点

当園は市内中心部の繁華街から一本入った中道の店舗や住宅が立ち並ぶ一角に位置している。園庭には大きく育った木々が立ち並び、木々の間に遊具、砂場が配置されている。訪問時には、子どもたちがでこぼこの小路で木の実や落ち葉を拾って元気に遊ぶ姿が見られた。園舎は年少児の出入り口がウッドデッキ風で、教室からそのまま園庭に出ることができ、保護者がそこで全て持ち物が準備できるよう、手さげ袋かけがあり、衣類のロッカーも設置されており、利便性に配慮された造りとなっている。また各室内は保育士手作りの牛乳パック等で園児の目線や動線を考慮して室内を仕切る等、部屋を広くして子どもたちが活動できる空間を確保している。

当園は、0歳から5歳児、一時預かりと7つのクラス編成で110名の園児に、延長保育、長時間保育をはじめ、ダンス、英語、体操、サッカー、絵画等の各種教室に専門家を招き、多彩な保育メニューを実施している。複数担任制であり、経験豊富な園長の配慮あるきめ細やかな助言・指導が行き届き、保育士一人ひとりの個性を活かした保育サービスが提供されている。

民営化されてまだ8年であるが、子どもたちが安全で安心して遊び、生活できるよう環境整備を行い、法人グループ内連携を活用して、レンゲ畑遊び、田植、稲刈り、馬との触れ合い、金華山登山等の様々な体験事業を実施したり、近隣住民やシニアクラブとの交流を広げたり、また法人全体のスケールメリットを活かした職員の育成が行われている。例えば法人の子育て部門において、公開保育を実施し、研究テーマを決め、お互いに成果を発表することで切磋琢磨し、保育の質の向上に努めている。

保育現場では、職員の保育経験の長短を見極めた園長からの声かけにより、職員の個性が発揮され、いきいきとした保育実践が展開されている。また当園独自の目標管理として、職

務基準設定シートを作成し、具体的に目標を設定し、中間評価と期末評価を実施し、職員の質の向上に努めている。

◇改善を求められる点

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価の受審は、全職員において、園運営や保育実践の見直しの良い機会となりました。現状を把握するなかで課題に気づき、改善にむけて話し合いを重ね、保育の充実に向け、取り組むことができました。

今回の評価を受け、今後も園内研修や自己評価に取り組み、より良い保育を目指し、地域の子育て家庭の支援や地域に愛される保育園として職員一同努力いたします。

⑤評価細目の第三者評価結果 (別添)

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ－１ 理念・基本方針

Ⅰ－１－（１） 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ－１－（１）－① 理念が明文化されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅰ－１－（１）－② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>当園の理念「安全安心の保育園」「ともに学び合う保育園」「みんなの保育園」「開かれた保育園」が明文化され、基本的な保育方針として「みずから学ぼうとする子、生きようとする子を育てます。」「美しいもの、良い人に接して、さわやかな感性と豊かな心を育てます。」「家庭・地域・保育園の子育て力を結びあい、誰もが希望を持てる保育を行います。」が明文化されている。また、保育目標として「元気な子・思いやりある子・豊かに表現できる子」が明文化されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅰ－１－（２） 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ－１－（２）－① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅰ－１－（２）－② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念・基本方針を新年度の職員会議において、全職員に理念・保育方針を配布して、職員に説明し、周知を図っている。各クラスに理念・保育方針を掲示するとともにネームプレートに理念・保育方針を入れて携帯し、常に職員の意識化に努めている。</p> <p>保護者には入園時、保護者会等の機会をとらえてパンフレットを配付し、具体例を示しながらわかりやすく説明をしている。パンフレットや「らっこ便り」を児童館やスーパー、嘱託医のクリニックなどに置いて一般の方々に情報提供をしている。また理念・保育方針・保育目標の園内掲示やホームページでの発信を通じて広く周知を図っている。</p>		

改善できる点/改善方法：

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>未満児保育需要の動向を踏まえた乳児の定員増加、保育室増改築、絵画教室など専門家による指導教室の開催、また次年度から幼保連携型認定こども園の移行を想定した、保育の質の向上に向けた研修の実施等、中長期計画に基づいて事業計画を策定し、取り組みを行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人本部の経理課や子育て部門での協議の下で事業計画が推進されている。この計画は職員会、リーダー会等、各打ち合わせ会の中で具体的な事業内容として協議し、共通理解を図っている。利用者には入園式やクラス懇談会等で、また行事ごとの案内状で説明する等周知を図っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は「保育士を教育するのが業務だと認識し、教育は関係性、信頼関係を結ぶこと、一人ひとりの保育士に愛情をもって接すべし、ひと手間かける」という信念で管理者の職責にあたっている。関係法令に関し、法人では新人教育プログラムを有し、人権、守秘義務、個人情報、苦情、プライバシー保護など基本的関係法令について3日間の研修を実施している。管理者は、関係法令について職員に具体的事例を用いてわかりやすく説明するよう心がけている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>	
<p>I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は保育サービスの質の向上に高い意欲を持ち、チャレンジシート、人事考課の項目、ふり返りノートを活用し、各保育士が何事にもトップダウンではなく、主体的に取り組んでいけるよう、保育士の性格に沿った声かけに努め、日々の保育を大事にしている。保育記録についてはエピソード記録を採用しつつ、簡素化に努めている。</p> <p>経営に関しては、毎月、幹部会議を開催して、業務の効率化と改善に向けた取り組みを行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p>		<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。</p>		<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。</p>		<p>Ⓐ・B・C</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業に関する動向について、複合的事業展開をしている法人の利点を活かして情報収集している。園長は、各種研修会に積極的に参加し、保育を取り巻く動向の把握に努めている。また県や市、保育関連の団体からの情報や雑誌等から全国的な情報を得て、職員会議の中で伝達している。さらに保護者のアンケートや地域の方々からの声を聴き、改善に取り組んでいる。経営に関しては、毎月の幹部会で保育園の運営について分析し、検討している。</p> <p>監査については、法人内の内部監査を始め、行政監査、会計事務所からの巡回監査を受けている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・B・C
II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>採用については、毎年、法人本部に採用希望人数を報告し、計画的に職員採用を行っている。担当クラスは新人と経験者とで互いに学び合える組合せとし、職員配置している。</p> <p>人事考課については、法人の人事考課マニュアルが整備されており、目標管理制度を導入し、職員それぞれにチャレンジシートを作成し、園長面接を行い、評価のフィードバックや業務についての助言・指導を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・B・C
II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の就業状況については、園長が把握している。また職員が相談できる窓口や法人内のカウンセリングを受けることができる体制がある。</p> <p>福利厚生には研修旅行を始め、誕生日祝い金、サプライズプレゼントとしてのビデオレター、定期健康診断、インフルエンザ接種、体調不良時の病院受診、腰痛予防体操マニュアルに沿った体操実施等、職員の福利厚生や健康増進にきめ細かな対応をしている。</p>	

改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人として、年度当初に年間の研修計画を立て、新人教育、途中入職者や職制ごとに職員全員が受講できる体制を取っている他、園内研修、外部研修にも積極的に受講してもらっている。各研修の受講後は、それぞれレポートを提出し、研修のふり返しをし、また職員会議で研修の報告をしたり、参加者がリーダーになり園内研修を行ったりして、評価見直しを行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育実習マニュアルが整備され、基本的な姿勢が明確にされている。受け入れについては、オリエンテーションを行い、幅広い体験や経験ができるように指導し、積極的に受け入れしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行う		Ⓐ・Ｂ・Ｃ

	ている。	
Ⅱ－３－（１）－③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>安全安心の保育を理念に掲げており、園長は子どもの安全確保について高い意識を持っている。防犯、防災、衛生管理、遊具の点検、日常的保育の安全等、各種マニュアルを整備し、緊急事態に備えている。</p> <p>法人内にリスクマネジメント委員会を設置し、リスク管理体制が確立されている。その中で検討された情報は職員間で共有されている。また県主催のシェイクアウト訓練に参加するほか、緊急時には保護者に一斉メールを配信する体制ができている。水、ミルク、お菓子など備蓄については法人が管理している。また毎月安全チェックリストを用いたりする他、散歩コースについてもコースの番号や歩いている地点を示す番号を付し、連絡が取りやすい工夫をしている。また、ヒヤリハット事例を積極的に提出し、事例検討に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１）	地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念にある「開かれた保育園」の地域での実践として、地域交流年間計画を策定し、定期的に地域交流の機会を持っている。また地元中学校の職場体験として３校の中学生を受け入れている。</p> <p>保育所機能の地域への還元については、一時預かり事業、日曜日には園庭開放のちびっこ広場の開催、育児相談等の子育て支援事業等を実施している。</p> <p>ボランティアの受け入れには、法人本部でボランティアのしおりを作成し、ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にしている。毎月のエレクトーン演奏、誕生日のミニコンサート、リズム遊び等、様々なボランティア活動がある。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－４－（２）	関係機関との連携が確保されている。	

	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>行政担当部署、子ども若者総合支援センター、市民健康センター、子ども相談センター、社会福祉協議会や地域の自治会等と連携を取り、情報交換を行っている。また関係機関をリスト化し、資料を作成して職員会議等で周知に努め、職員間での情報の共有化を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>関係機関との連携や園庭開放、子育て相談支援等を通じて地域の福祉ニーズの把握に努めている。ニーズに応じて延長保育・長時間保育・障害児保育・０～２歳児の入園希望・一時保育・子育て相談等の保育事業を展開している。</p> <p>一時預かりの「らっこ活動」や「らっこ通信」を通じて未満児の状況を把握し、また相談事業で保護者の状況を把握し、計画に反映し、事業展開に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点： その子にとって、それが最も良いことなのかと常に自問する姿勢を持ち、保育の理念、方針、目標に基づいて一人ひとりの子どもの人権を尊重し、日々の保育にあたっている。 プライバシー保護については、個人情報保護マニュアルを作成し、着替え、シャワー、トイレ等の項目についてもマニュアルを整備し、プライバシー保護の体制を作っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（２）－①</p>	<p>利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保護者懇談会や月１回の個人懇談、行事ごとのアンケート調査等から意向の把握に努めている。アンケートは集計し、意見・要望について公表する等利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（３）－①</p>	<p>利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－②</p>	<p>苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－③</p>	<p>利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 園内に意見箱を設置し、保護者の送迎時の声かけ・コミュニケーションづくり、相談室を設置して日常的に意見を把握する等、利用者が相談しやすい環境を整備している。また法人の苦情解決に関する規定により第三者委員が選任されている。「苦情解決の体制」を園内の２箇所に掲示しており、意見が出された場合には、迅速に対応し、その公表も行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－２ サービスの質の確保

<p>Ⅲ－２－（１） 質の上昇に向けた取組が組織的に行われている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
---------------------------------------	----------------

	Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-2-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 自己評価ガイドラインに基づいて定期的な評価を行っている他、課題については園全体で検討・協議をし、改善に向けた計画を立てて取り組んでいる。第三者評価は今回で2回目の受審である。この作業を通して新たな課題解決に向けた取り組みを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 個々のサービスの標準的な方法については、各種のマニュアルを整備し、各種職員会議等で周知している。マニュアルには子どもの個性尊重やプライバシー保護の姿勢が明示されている。 また法人理念や保育指針、保育課程に沿って、子どもの個性を生かした保育の実践が展開されている。日々記帳される連絡及びふり返りノートを活用し、その都度、職員同士が意見を交わし合っ、自分の保育を見直す機会として定着している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・B・C

る。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの記録は記載マニュアルに基づき、3歳未満児、障がい児について児童票Ⅰと個別指導計画を作成し、3歳以上児についてはクラス単位で児童票Ⅰ・Ⅱ記録を作成している。</p> <p>記録の管理については、個人情報取扱規則に基づき、適正に管理されている。また、個人情報に関する秘密保持誓約書を提出し、個人情報保護研修の受講を通して情報保護に関する意識を高めている。</p> <p>情報共有については職員会議等で共有化している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス情報はパンフレット、入園案内、園だより、らっこだより、各種通信やホームページ等様々な方法でサービス内容をわかりやすく発信している。</p> <p>入園にあたっては、入園のてびきを用いる等サービス内容をわかりやすく丁寧に説明している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育サービスや保育所の変更、就学時のサービスの継続については、保育の継続性に配慮して文書で引き継ぎを行っている。市内の保育所に転園の場合には、児童票を郵送したり、必要に応じて口頭で伝えたりして、転園後の保育が円滑に継続されるよう努めている。市外転園で要望がある場合は、別紙により報告している。</p>		

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者のアセスメントについては、定められた手順（健康診断事前調査票→健康診断表→家庭調査票→児童票の順）に従ってアセスメントを行っている。個別指導計画において個別にニーズや課題を具体的に明記している。状況の変化がある場合には、保護者と面談をして、アセスメントを行うとともに対応についても助言・指導を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>計画の策定については、保育課程に基づいて、子ども一人ひとりのニーズや課題を明らかにし、連絡帳や個人懇談等で把握した保護者の意向を汲み上げ、主任や副主任の指導を受けて園長の確認を得て作成している。</p> <p>評価、見直しについては、アセスメント、課題分析、保育実践、モニタリング、見直しのPDCAサイクルができています。子ども一人ひとりの発達課題の「見える化」について外部の専門家に学び、グラフ化や柱立てをし、職員が取り組みやすい体制を整備している。職員にはそれぞれの子どもの発達過程に意識を持って対応するよう指導している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 市の保育課程を参考にし、特に地域との関わり(公園清掃活動に敬老会と一緒に行う等)を重点に取り入れ、保護者からの意見等も踏まえて編成している。子どもたちの日頃の様子も考慮し、見直しを定期的に行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育室はカラフルで明るく安全性に配慮した環境が整えられている。複数の職員で乳児たちを見ながらゆったりと生活できるスペース(遊びのコーナー、食事、睡眠)がある。保護者と連絡を取りながら育児の相談に応じる等して信頼関係を築いている。授乳室、沐浴室は清潔に整えられている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 未満児は主体性を育むために食事の場所は別にし、コーナーが設置されている。睡眠時観察記録票で呼吸の有無、鼻水、咳の有無等チェックしている。保育室から戸外に出るときにデッキがあるので座って靴を履いたり、安心して歩いて行けるスペースがある。室内には牛乳パックで作った「ろの字形」の手作り遊具があり、中に入ったり、またいだり、自由に安全に遊ぶことができ、視覚的にも楽しめるものとなっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 「子どもの主体性を育む豊かな保育環境」を目指し、基本的な生活習慣が定着できるよう様々な保育場面で子どもたちに合わせた約束ごとをわかりやすく伝えている。ダンス、英語、体操、絵画教室等の外部講師を招き、異年齢で交流しながら保育を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 小学校の授業参観に園長や担任を担当していた保育士が参加したり、園の夏祭りには小学生を招待し、お面作りやゲームコーナーで一緒に楽しみ、互いに交流を行っている。保護者の希望に応じて、就学に向けて懇談を行っている。また保護者には幼児期に育てる基礎的な力が小学校生活を行っていく上で基盤になることを園だよりやクラスだよりで知らせている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2-（1）生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 限られたスペースを有効に活用し、牛乳パックを利用して安全なしきりやコーナーを設置している。ロッカー、フックや持ち物の高さ・位置については子ども自身が身の回りのことを習得して行けるよう配慮されている。手洗い場やトイレは明るく清潔であり、トイレはバリアフリーになっている。月2回の安全点検、環境整備も行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（2）子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 基本的な生活習慣が確立できるよう子ども一人ひとりの発達段階を把握して対応している。入口に入ると個々にロッカーがあり、手さげ袋、持ち物等、全てそこで準備できるようになっている。遊戯室ではダンスやリズム遊びを行い、屋上では縄跳び等を行う等身体的な活動ができるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（3）子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育士が自主的に研究チームを作り、子どもの発達段階や興味、関心に合わせた手づくり玩具や遊具等を作っている。また食育の体験学習として屋上の菜園でお米や野菜を収穫したり、友だちと一緒におにぎりを食べたり、みんなで花餅を作る等の協同的な体験をしている。地域の高齢者に行事案内を手渡しで配ったり、シニア会の人たちから交流のお礼に絵本のプレゼントをいただいたりする等様々な地域の方々と交流する機会がある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（4）子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 園庭は四季折々の季節を実感することができ、落ち葉を集め、落ち葉のプールとしての遊びの場となっている。近隣の公園に散歩に出かけたり、自然物を拾ったり、壁面に飾る等して自然とのふれあ</p>	

いを保育に活用している。また七夕会、夏祭り、餅つき、公園の清掃活動等に参加する等、地域の人々と接する機会も多い。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-（5）子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 絵本のコーナーが玄関や2階のホール等身近な場所にあり、子どもや保護者が自由に見て楽しめるようにしている。また年長児の当番の子は人数を調べたり、朝の体操の司会を行ったりする等してみんなの前で表現する機会を作っている。	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-（1）保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 保育園独自の月間ふりかえりノートがあり、自己点検し、来月に向けた課題を発見し、検討している。また当保育園独自のチャレンジシート(職務基準設定シート)があり、具体的に目標設定をし、自分の保育活動をふり返るという中間評価と期末評価を行っている。年度末に所長を面談して今年度の保育実践をふりかえり、実践に反映している。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-（1）子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 複数担任制を活かして、保育士同士が連携し、子ども一人ひとりに目を向けることができるようにしている。特に配慮の必要な子についてはリーダー会、ケース会議等で検討し、全職員が共通理解し、対応していけるようにしている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-（2）障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 障がい児担当保育士がおり、障がいのある子が安心して生活できる環境や保育の内容に配慮している。また保健センター、エールぎふ、発達支援センター等の関係機関と連携を密にしている。全職員が障がい児に関する情報を共有し対応している。	

改善できる点／改善方法：	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>引き継ぎには送迎チェック表を利用し、担任でなくても確実に保護者に伝達できるようにしている。午後のおやつ時間は手づくりのものを多くして、空腹にならないように配慮している。また、迎えが遅れる場合でも保護者の立場に立って対応している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果
	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>常勤の看護師を配置しており、子どもの体調の変化について、複数の目で見ることができ、迅速に対応できる体制がある。また体調の変化について、特に送迎時や引き継ぎノート等で保護者に詳しく伝えるようにしている。また看護師が中心に「保健だより」を作成し、その時期に流行する感染症や子どもたちがかかりやすい疾患について詳しく記載し、保護者への周知に役立っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>誕生会やハロウィン、クリスマス会等会食を楽しんでいる。2歳児もクリスマス会から参加している。テーブルクロスをかけたリ、花で飾るなどテーブルを美しくして楽しめる工夫をしたり、園内で栽培した野菜をホットプレートを利用して食べたりしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>管理栄養士が順番に年中クラス、年長クラスに入って一緒に食べ、子どもたちの食べる様子を見て、状態を把握している。また米食のとき等、ご飯を星型に型ぬきしたり、食べやすい皿のふちが高くなっているものを使用する等子どもが興味を持ち、食べやすいような工夫がされている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年2回の内科・歯科健診と年1回の耳鼻科・眼科の健診を実施している。健康診断の前には保護者に体調に関する問診票を提出もらい、健康診断の目安にしている。健診結果は、保護者に伝えられ、</p>	

必要な場合は受診してもらい、結果を把握し、次年度に申し送りしている。
改善できる点/改善方法：

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 保護者からアレルギーに対する診断書を提出してもらい、献立表について保護者、担任、管理栄養士、副園長と話し合い、除去食について確認している。食事提供時にはトレーの食事について食前に調理員、園長、担任が再度確認し、子どもに提供している。	
改善できる点/改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 給食担当者が衛生管理の研修に参加し、知識向上に努めている。定期的に管理栄養士、調理員が衛生管理についてミーティングを行っている。	
改善できる点/改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 週2回の展示食とレシピを用意し、また行事の際にも展示食を実施して、保護者が関心を持てるように配慮している。また「給食だより」では、行事食、メニューや地産地消についての説明をわかりやすく書き、保護者に伝えている。	
改善できる点/改善方法：	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 未満児の様子については連絡帳を通して保護者と共通理解を持つようにしている。送迎時にはできる限り保護者とのコミュニケーションに努めている。なかなか会うことができない保護者とは、保護者の都合に合わせていつでも相談に応じたり、面談できるようにしている。	
改善できる点/改善方法：	

VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 生活発表会の幕間に子どもたちの日常の生活の様子の写真をスライドにして保護者に伝えている。また保護者の相談ごとについてはいつでも対応できるようにしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 全職員が研修を受け、虐待の早期発見と対応策について共通理解を持つようにしている。また関係機関(子ども若者支援センター、中央子ども相談センター、児童委員等)とも連携した取り組みを行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 年長児はヘルメット、年中、年少児は防空頭巾を備えている。「お迎え登録票」により保護者以外の送迎の場合は園に連絡することを徹底している。県警本部「たんぼぼ班」による連れ去り防止訓練を行っている。市より不審者情報はファクスで伝えられている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 入園、進級式の際に一年間の行事予定を渡し、またおたよりにおいても翌月の行事を知らせたり、声かけをしたりして積極的に行事参加を促している。参加ができなかった保護者には、後日資料を配布し、子どもの状況等を知らせている。また保護者から依頼があった場合は必要に応じて参観してもらっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 保育園の行事には積極的に参加される保護者が多く、保護者会や保育園の活動にも協力的である。研修会等にも参加してもらい、意見交換を行っている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 幼保小連携協議会に出席したり、小学校の運動会に園児が参加したり、授業参観には所長や担任が出席している。小学校から教務主任が来訪し、交流している。他の民間保育園とも交流している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	